

議会における広報・広聴機能の強化に向けた取組について（素案）

取 組				実施に向けたスケジュール(案)		
項 目		内 容	課題・検討事項等	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知・関心の向上に向けた取組	① 市議会ホームページに審議内容をより詳しく紹介	○新たに掲載する会議資料等		検討	順次実施	
		・発言通告書	・通告書提出締切後、変更が可能なため、ホームページ掲載日をどの時点にするのか。			
		・委員会・分科会質問表	・質問とりまとめ締切後、変更が可能なため、ホームページ掲載日をどの時点にするのか。 ・予算・決算委員会の総括質疑・討論を除き、通告制ではないため、当日の委員会・分科会では、掲載していない質疑者・質問が生じる。			
		・会議録(速報版)	・AI即時反訳を活用するのか、委託業者から納品された会議録（会議後、約10日後）を使用するのか。 ・どちらも完成後の会議録との精度の差が大きい。			
		・議会運営委員会記録(抄)				
	② 市議会ホームページのQRコード等の活用	○各議員のホームページ、活動チラシ、名刺等に市議会ホームページのQRコードやURLを掲載し、市議会ホームページへのアクセスを促進		検討	実施	
促進参に向けた取組	③ 議場システムの活用	○議場システムの動画放映機能を活用し、本会議開会前、休憩中に議場スクリーンに動画等を放映 ・議会日程のお知らせ ・議会が主催する行事等のお知らせ（議会報告会、議場見学等） ・議会のPR動画 ・堺市PR動画（観光等）など	（議会のPR動画）※「⑤動画の制作・活用」も参照 ・企画から撮影、編集までの業務スケジュール、役割分担（会議体の設置など）等の検討が必要。 ・動画制作業務を委託する場合、費用が生じる。	検討	実施	
		○堺市議会公式X（旧Twitter）を開設し、以下の即時性のある情報等を発信 ・議会日程やインターネット中継開始のお知らせ ・市議会ホームページの更新情報 ・議会報告会の参加者募集など	・発信する頻度や内容、確認作業など具体的な運用方法の策定が必要。 ・継続的な情報発信に向けて、役割分担（会議体の設置など）等の検討が必要。 ・投稿等の業務を委託する場合、費用が生じる。			
		○議会の役割や仕組み等を分かりやすく紹介する動画を作成し、市議会ホームページや議場システム等を活用し放映	・企画から制作までの業務スケジュール、役割分担（会議体の設置など）等の検討が必要。 ・企画から制作までの業務を委託する場合、費用が生じる。			
		○広報の充実 ・電子版議会広報紙の制作と発信	・広報さかいと同様に紙版広報紙を制作する場合、多額の費用が生じる。（概算で450万円/回） ・掲載記事の内容決定から原稿作成までの編集業務スケジュール、役割分担（会議体の設置など）等の検討が必要。			
		○若者世代や市民参画の仕組みの充実				
	⑦ 広聴機能の充実	・議会報告会	・区役所開催の検証 ・新たな手法の検討	検討	順次実施	
		・出前授業	・議員が講義を行う運用に変更するのか。			
		・議場見学	・議員が受け入れ等の対応を行う運用に変更するのか。			
		○議会の権能強化となる仕組みの活用を促進 ・本会議・委員会での参考人制度の積極的活用	・参考人制度を活用して研修会を実施するのか。 ・議案審議での活用は、会議内に参考人と招致日、参考人への質問内容、委員会運営方法を検討する必要がある。（出席要請等については、本会議・委員会での議決が必要）			